



## 2019年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2019年5月13日

上場会社名 株式会社ストリームメディアコーポレーション 上場取引所 東  
 コード番号 4772 URL <https://www.streammedia.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 崔 官鎔  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 大山 智子 TEL 03-6809-6118  
 四半期報告書提出予定日 2019年5月13日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第1四半期の業績 (2019年1月1日～2019年3月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第1四半期	1,904	50.9	△5	—	△4	—	△7	—
2018年12月期第1四半期	1,262	25.6	55	19.3	52	25.4	53	△7.1

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第1四半期	△0.45	—
2018年12月期第1四半期	3.27	3.27

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第1四半期	6,403	4,678	72.6	281.47
2018年12月期	6,418	4,681	72.6	282.35

(参考) 自己資本 2019年12月期第1四半期 4,647百万円 2018年12月期 4,661百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2019年12月期	—	—	—	—	—
2019年12月期 (予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2019年12月期の業績予想 (2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,800	△17.8	80	8.7	80	9.6	70	14.1	4.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2019年12月期 1 Q	16,520,351株	2018年12月期	16,520,351株
② 期末自己株式数	2019年12月期 1 Q	9,234株	2018年12月期	9,197株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2019年12月期 1 Q	16,511,152株	2018年12月期 1 Q	16,511,235株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、様々な不確定要素が内在しておりますので、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、四半期決算短信〔添付資料〕3ページ 1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	5
第1四半期累計期間 .....	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(追加情報) .....	6
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済、金融政策により企業収益と雇用環境に改善が見られたものの、ヨーロッパやアジア新興国等の経済の先行き、米中を中心とした貿易摩擦の動向など、海外経済の不確実性は高まっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中、当社の当第1四半期累計期間においては、ライツ&メディアコミュニケーション事業では、イベント案件はなかったものの、引き続き版權事業が順調に推移いたしました。また、放送事業では、Kchan!韓流TVでオリジナル音楽番組「Power of K TOKYO LIVE」を毎月東京から生中継し、視聴者獲得を図ってまいりました。

利益面では、放送事業において番組償却費用などコストが嵩んだこともあり、この結果、当第1四半期累計期間の売上高19億4百万円(前年同期比50.9%増)、営業損失5百万円(前年同期は営業利益55百万円)、経常損失4百万円(前年同期は経常利益52百万円)、四半期純損失7百万円(前年同期は四半期純利益53百万円)となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

## (ライツ&amp;メディアコミュニケーション事業)

イベント・マネジメント事業では、当第1四半期累計期間にはイベント案件がなかったものの、ファンクラブ事業では、システム運用の本格稼働により収益も安定的に拡大しております。版權事業では、前事業年度に引き続き大型ドラマ版權の自社テレビ局KNTV、DATVでの放送をはじめ、CS・BSでの放送が続々決定しており、DVD・VOD化事業も順調に推移しております。

この結果、売上高は12億74百万円(前年同期比84.9%増)、セグメント利益は1億2百万円(前年同期比64.4%増)となっております。

## (放送事業)

放送事業では、前事業年度に自社テレビ局KNTV・DATVとリニア配信Kchan!韓流TVの韓流3チャンネル運営体制となり、継続的な視聴料収入の安定化と販路拡大を図ってまいりました。

KNTVでは、話題作ドラマ「100日の朗君様」「輝く星のターミナル」、SMアーティスト大集結の第6弾で新オーディション番組「UNDER19」をはじめとした人気バラエティ番組などを日本初放送、DATVでは、「12夜」「少女For Rest」「私は道で芸能人を拾った」など韓流ドラマ・バラエティや、華流超大作「海上牧雲記」などを初日本放送、Kchan!韓流TVでは、オリジナル音楽番組「Power of K TOKYO LIVE」を毎月東京から生中継するなど、話題を提供してまいりました。

利益面については、話題作集中放送に伴い番組償却費用が増加したこと、Kchan!韓流TVのオリジナル番組製作費用などコストが嵩んだ結果、売上高は6億76百万円(前年同期比16.5%増)、セグメント利益は20百万円(前年同期比75.5%減)となっております。

## (その他事業)

その他事業では、売上高は1百万円(前年同期比59.3%減)、セグメント損失は0百万円(前年同期はセグメント利益0百万円)となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末の総資産は64億3百万円となり、前事業年度末に比べ14百万円減少いたしました。その主な要因は、現金及び預金が2億7百万円増加、コンテンツ事業権が2億84百万円減少、及び有形固定資産が60百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第1四半期会計期間末の負債は17億24百万円となり、前事業年度末に比べ12百万円減少いたしました。その主な要因は、買掛金が2億54百万円減少、前受金が29百万円減少、及び流動負債のその他が2億73百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第1四半期会計期間末の純資産は46億78百万円となり、前事業年度末に比べ2百万円減少いたしました。その主な要因は、利益剰余金が7百万円減少したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当事業年度の業績予想につきましては、2019年2月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2018年12月31日)	当第1四半期会計期間 (2019年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,644,304	1,851,633
売掛金	479,099	634,101
商品	18,568	1,088
番組勘定	816,533	818,954
コンテンツ事業権	1,300,164	1,015,455
貯蔵品	127	127
前渡金	1,107,508	1,024,975
その他	152,911	136,295
貸倒引当金	△1,566	△2,222
流動資産合計	5,517,651	5,480,410
固定資産		
有形固定資産	38,661	98,767
無形固定資産	89,044	84,109
投資その他の資産		
投資有価証券	539,216	532,181
その他	335,785	310,030
貸倒引当金	△101,709	△101,702
投資その他の資産合計	773,291	740,509
固定資産合計	900,998	923,386
資産合計	6,418,649	6,403,796
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	515,962	261,264
前受金	879,145	849,175
その他	315,028	588,536
流動負債合計	1,710,136	1,698,976
固定負債	27,164	25,839
負債合計	1,737,300	1,724,815
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,591,492	4,591,492
資本剰余金	1,825,566	1,825,566
利益剰余金	△1,711,313	△1,718,674
自己株式	△32,974	△32,981
株主資本合計	4,672,770	4,665,402
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△10,927	△17,962
評価・換算差額等合計	△10,927	△17,962
新株予約権	19,505	31,541
純資産合計	4,681,348	4,678,981
負債純資産合計	6,418,649	6,403,796

(2) 四半期損益計算書  
(第1四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
売上高	1,262,098	1,904,060
売上原価	960,795	1,610,613
売上総利益	301,303	293,447
販売費及び一般管理費	245,340	299,147
営業利益又は営業損失(△)	55,962	△5,699
営業外収益		
受取利息	467	591
為替差益	—	17
還付加算金	—	492
貸倒引当金戻入額	20	—
その他	69	121
営業外収益合計	557	1,222
営業外費用		
支払利息	304	235
為替差損	3,639	—
その他	17	0
営業外費用合計	3,961	235
経常利益又は経常損失(△)	52,558	△4,713
特別利益		
新株予約権戻入益	6,773	—
特別利益合計	6,773	—
特別損失		
固定資産除却損	—	107
減損損失	—	1,375
その他	—	168
特別損失合計	—	1,650
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	59,332	△6,364
法人税、住民税及び事業税	5,384	997
法人税等合計	5,384	997
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,948	△7,361

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 2018年2月16日)等を当第1四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2018年1月1日 至 2018年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライツ&メディア コミュニケーション	放送	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	676,757	580,812	1,257,570	4,527	1,262,098
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12,728	—	12,728	—	12,728
計	689,485	580,812	1,270,298	4,527	1,274,826
セグメント利益	62,442	83,768	146,211	332	146,543

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	146,211
「その他」の区分の利益	332
全社費用(注)	△90,580
四半期損益計算書の営業利益	55,962

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## II 当第1四半期累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ライツ&メディア コミュニケーション	放送	計		
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	1,225,518	676,699	1,902,218	1,842	1,904,060
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	49,474	—	49,474	—	49,474
計	1,274,992	676,699	1,951,692	1,842	1,953,534
セグメント利益又は損失(△)	102,673	20,561	123,234	△102	123,132

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、デジタルコンテンツ配信事業及び音楽コンテンツ事業等を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	123,234
「その他」の区分の利益	△102
全社費用(注)	△128,831
四半期損益計算書の営業損失(△)	△5,699

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに配賦していない管理部門等に係る費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。